

# Takahashi Masaki

タカハシ・マガジン Vol.8

## 高橋まさき後援会 役員名簿

役職	(順不同・敬称略)			
顧問	南 義弘	石澤 義文	橘 慶一郎	
	穴田 甚朗			
参与	横田 安弘	井村 昭彦		
会長	川村 人志			
副会長	荒井 公夫	稲垣 晴彦	氏家 史貴	
	大井 弘	岡本清右衛門	尾崎 迅	
	梶谷 英治	梶原 壽治	川西 邦夫	
	木本 博之	小泉 弘子	小山 智克	
	酒井 敏行	阪口 剛史	田井 佳夫	
	田辺 千秋	辻 やす子	永田 義邦	
	西田 隆文	萩原 清	開 章夫	
	藤川 正司	本多 剛治	山本 務	
	吉岡 周			
幹事長	高畠 義一			
会計	菅野 克志			
監事	杉江 幸男	中村 絢一		

(2020年4月1日現在)



令和元年度 高樹会・高橋まさき後援会 合同講演会・懇親会にて

## 高樹会 役員名簿

役職	(順不同・敬称略)			
顧問	南 義弘	石澤 義文	川村 人志	
相談役	横田 安弘	井村 昭彦	穴田 甚朗	
会長	永田 義邦			
副会長	稲垣 晴彦	岡本清右衛門	川西 邦夫	
	多田 慎一	萩原 清	八十島清吉	
	山口 正志	山本 務		
幹事長	本多 剛治			
副幹事長	在田 吉保	萩原 隆夫	菅野 克志	
	田辺 千秋	釣谷 宏行	増岡 一郎	
会計	鷺山 浩一			
監事	中村 絢一	張田 昭夫	吉岡隆一郎	

(2020年4月1日現在)

## 高橋まさき後援会 支部長名簿

(順不同・敬称略)

下関支部	米島 義三	福田支部	森田 和夫	西条支部	藤田 晴久
二塚支部	小栗 久雄	立野支部	杉本 進	成美支部	高井 清高
太田支部	増井 俊一	能町支部	橋本 善明	平米支部	和田 徹
中田支部	山岸 和夫	小勢支部	金元三知雄	古府支部	牧野 光男
石堤支部	橋 信一	横田支部	佐賀 儀明	福岡支部	井村 昭彦
東五位支部	杉江 幸男	木津支部	月安 幸三	博労支部	古國府信二
野村支部	高木 達郎	吉久支部	上埜 進	正 柔 会	吉村 英男
戸出支部	松嶋 浩二	伏木支部	坂 廣志	女性部会	辻 やす子
牧野支部	大坂 昭輔	国吉支部	中田 孝司	青年部会	菅野 克志
佐野支部	浦田 一郎	万葉支部	川田 正信		
川原支部	下山 実	定塚支部	山達 六夫		

(2020年4月1日現在)

## 高橋まさきプロフィール

生年月日 昭和29年5月23日 高岡市生まれ  
趣味 読書、文具集め、友人たちとの語らい

- 平成13年1月 省庁再編後の総務省で、情報通信政策局 地域放送課長
- 平成14年1月 総務省自治財政局財務調査課長
- 平成14年7月 新潟県副知事  
中越地震の復旧・復興に携わる。
- 平成18年4月 総務省統計局統計調査部長
- 平成19年7月 総務省大臣官房審議官(税務担当)
- 平成20年8月 財団法人地域創造常務理事  
芸術文化を通じた創造性豊かな地域づくりを推進
- 平成21年7月 高岡市長
- 平成25年4月 富山県市長会会長(～平成27年5月)
- 同年5月 全国市長会北信越支部長(～平成26年5月)
- 同年7月 高岡市長2期目就任
- 平成26年6月 全国市長会副会長(～平成27年6月)
- 全国市長会都市税制調査委員会委員長(～現在)
- 平成27年6月 全国市長会相談役(～現在)
- 平成29年7月 高岡市長3期目就任

## 高樹会ご入会案内

「高樹会」は、「高橋まさき後援会」の資金管理団体です。入会及びその他について、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。皆様の「高樹会」ご入会をお待ちしております。



まさきの活動日誌更新中!

「高橋まさき公式ホームページ」をご覧ください。



ホームページ

<http://www.takahashi-masaki.com/>

お問い合わせ

高橋まさき後援会

〒933-0912 高岡市丸の内1-40 高岡商工ビル 7F

TEL:0766-26-6035 FAX:0766-26-6008

2020年5月発行

# 実行。

高橋まさきは、

磨く つなぐ 創る

令和2年度は未来の高岡を築くための第二期総合戦略「みらい・たかおか」が始動します。これからの高岡を担う「ひとづくり」に重点を置き、「まちづくり」「しごとづくり」の好循環を創りながら、地方創生の推進、移住・定住促進のための取り組みを進め、「元気なふるさと高岡」を実現してまいります。予算編成では、財政健全化に確かな手応えを感じながら、特に次代を担う子ども達の「ひとづくり」に力を注ぎました。地球世界で活躍できる人材を育てるべく、県下で初めて9年制の義務教育学校が開校するなど、小学校の再編、小中一貫教育を柱として、教育改革をスタートさせました。

中心市街地では、セリオビルにおいて地場産センターの移転をはじめ、「セリオタウン構想」の実現に向けた取り組みが本格化します。駅周辺でも、ホテルとマンション一体的開発など、新しい形の都市機能集積が進んでいます。まちなかの灯を消すことなく市街地の活性化に取り組んでまいります。

そのさなか、新型コロナウイルスの感染拡大が全世界を襲い、我が国でも緊急事態宣言が発せられる事態となりました。市民の皆様の安全安心を最優先に、学校や公共施設の休校・休業や外出の自粛、「密閉、密集、密接」の回避などをお願いしてきました。医療関係者はじめ、それぞれの分野で、多くの方々が懸命の努力をされておいでです。ご理解、ご協力、ご尽力をいただいている全ての方々に感謝申し上げます。国、県と連携し、一日も早く感染拡大を終息させ、市民の皆さまの生活の安定、地域経済を支えるために全力で取り組んでまいります。

この間、市民の皆さまの生活行動が大きく変化しています(行動変容)。在宅勤務やネットを活用するビジネスモデルがすっかり定着してきました。教育や子育て、介護の分野、家庭など、生活のあらゆる場面で創意工夫をこらした新しい過ごし方が生まれています。これらの創造的な努力の積み上げを今後の地域社会に活かして「新しい行動様式」を創り出していくことが大切です。そのような逞しさが、今、求められていると確信します。

新型コロナ禍に打ち克ち、市民の皆さまとともに「市民創造都市高岡」を築いてまいりますので、皆さまのご指導、ご鞭撻をよろしくお願いたします。



## 第2期高岡市総合戦略「みらい・たかおか」

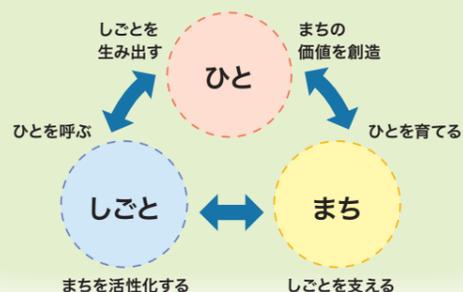
～未来を拓く子ども、挑戦する若者、きらめくまち～

### まち・ひと・しごと総合戦略

「ひと」が中心

地方創生は人口減少克服と成長力確保に向けた取り組みで、「ひと」が中心です。「ひと」の創生を起点としながら、「ひと」がまちに新たな価値を創造し、魅力的なしごとを生み出す。「しごと」がまちを活性化し、創造的なひとを呼ぶ。「まち」がひとを育てしごとを支える、という好循環を確立します。

#### まち・ひと・しごとの好循環のイメージ



### 未来を拓く子ども、挑戦する若者、きらめくまち

高岡の強み(歴史・文化、ものづくり)を活かしながら、地域のみんなで未来を拓く子どもを育てます。高岡に愛着と誇りを持つ若者が、高岡に根を張りながら世界へ挑戦することのできる社会を目指します。その若者が核となって、地域のみんなが夢や希望、いきがいを持って暮らしていけるよう「未来を拓く子ども、挑戦する若者、きらめくまち」を創ります。



### 基本的な考え方

#### 将来にわたって人口減少の克服と地域の経済社会の活性化を図る

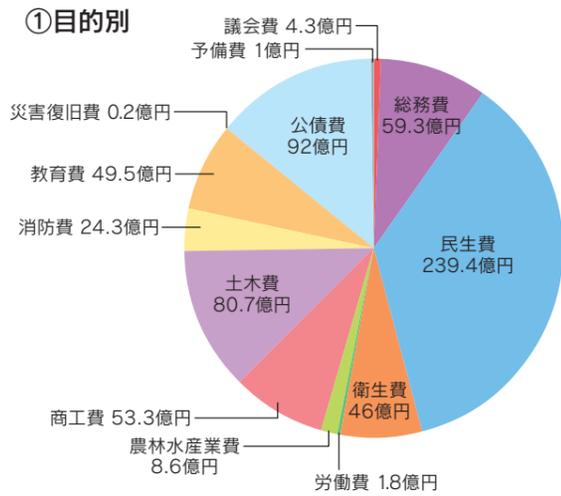
1. 若者の移住・定住を促進する
  - ◆ 住みよい魅力のPR等により、若者を呼び込む
  - ◆ 地域に愛着を持つ若者を育て、移住・定住につなげる
2. 若者の働く・結婚・子育ての希望をかなえる
  - ◆ 子育て、教育の環境を整備する
  - ◆ 魅力的なしごとづくりを推進する
3. 人口減少に対応可能な地域をつくる
  - ◆ 地域コミュニティの維持・強化を図る
  - ◆ 広域連携を推進する
  - ◆ コンパクト・アンド・ネットワークを推進する

基本目標と基本的方向	主な具体的施策	横断的な視点
<b>基本目標1 (ひとの創生)</b> 『多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる』 2025年までの転出・転入を均衡	● 若者、女性など多様なひとの移住・定住の促進 ● 関係人口や大学生のまちづくりへの参画と定着の促進 ● まちなかにおける安全・安心な生活環境の整備と居住の促進	第2期戦略の取り組みを伸ばすための新たな視点を設定し、戦略に反映
<b>基本目標2 (ひとの創生)</b> 『安心して子どもを生み育てられるまちをつくる』 待機児童数:R6年度0人 放課後児童クラブの入所者数:R6年度1,634人 10歳未満の子どもの数:2025年までに+100人	● しごとと子育ての両立の推進 ● 安心して子育てができるサービスの充実 ● 地域で子育て家庭を支える社会の形成 ● 子どもの権利を守る体制の整備 ● 地域の文化に誇りと愛着を持ち、未来を担う子どもの育成	● 地域コミュニティの維持・強化 ● 広域連携の一層の推進 ● 地域資源の最大活用及び新たな価値の創出 ● IoT、AI等をはじめとした次世代技術の積極的活用
<b>基本目標3 (しごとの創生)</b> 『魅力的なしごと挑戦できるまちをつくる』 創業件数:累計600件 観光客入込数:2025年までに396万人	● 地域産業の競争力強化 ● 持続可能な産業構造の構築 ● 戦略的な企業立地の推進による産業集積の促進 ● 産学官金の連携強化による新事業創出と創業・事業者間交流の促進 ● 魅力的な観光地域づくりと広域観光の推進	● 国際目標に対応し、時代の流れを取り入れる ● SDGs(持続可能な開発目標)の推進
<b>基本目標4 (まちの創生)</b> 『誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる』 居住誘導区域内の人口密度:R6年度40人/ha 地域共生社会実現に向けた会議の開催回数:R6年度82回 など	● コンパクト・アンド・ネットワークの推進による快適な生活と持続可能な都市経営の確保 ● 広域連携による活力ある経済・生活圏の形成 ● 創造的な活動の活性化 ● 時代の変化に即した地域コミュニティの維持・強化	● 持続可能なまちづくりを推進する

# 令和2年度/持続可能な未来を拓く足がかり予算

## 歳出予算の内訳

一般会計予算総額：660億3,545万3千円（対前年度比0.6%増）



## ②性質別(主なもの)

### ◆ 投資的経費

59億716万円

(前年度予算62億3,684万円 / 5.3%減)

### ◆ 扶助費

135億1,426万円

(前年度予算134億825万円 / 0.8%増)

### ◆ 人件費

107億9,433万円

(前年度予算97億3,785万円 / 10.8%増)

※円グラフの金額は端数を調整しています。

## 予算における主な事業 めざすまちの姿と施策

# 地域産業

ものづくりの技と心を磨き  
知識と技術をつなぎ  
新たな産業が息づくまちを創ります

【新】：新規事業 【拡】：拡大事業  
(連携事業)とやま呉西圏域連携中枢都市圏事業  
【新機軸】：「未来に繋ぐ高岡新機軸」事業

## 1. ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している

### 新たな事業活動の創出

- 新産業創造プラットフォーム事業(8,682千円)
- 創業促進支援事業(2,800千円)

### 雇用・勤労者福祉の充実

- 就業マッチング支援事業(連携事業)(5,719千円)
- U・Iターンによる人材確保促進事業(3,040千円)

### 地域産業の競争力強化

- 【新】金屋鋳物師町交流館整備事業(18,997千円)
- 新クラフト産業・デザイン育成支援事業(1,063千円)
- 菅笠保全対策事業(4,353千円)
- 【新】高岡地域地場産業センター移転整備事業(209,162千円)

### 中小・小規模企業の経営基盤強化

- 中小・小規模企業向け融資事業(3,532,224千円)
- 次世代型ものづくり人材育成事業(4,037千円)

### 産業基盤の整備・企業立地の推進

- とやま呉西圏域共創ビジネス研究所修了式開催事業(連携事業)(2,437千円)
- 企業立地助成金(358,910千円)



とやま呉西圏域共創  
ビジネス研究所修了式

## 2. 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある

### 農業の持続的発展

- 水田利活用対策事業(20,783千円)
- 農業経営体育成事業(21,482千円)
- 農業後継者対策特別事業(3,360千円)
- 6次産業化・地産地消の推進事業(3,377千円)
- 農業基盤整備事業、農業環境整備事業(158,970千円)

### 農山村の振興

- 多面的機能支払支援事業(213,973千円)
- 【拡】有害鳥獣駆除事業(5,584千円)

### 水産業の振興

- 水産業振興事業(1,226千円)

### 林業の振興

- 森林経営計画策定事業(6,000千円)
- 水と緑の森づくり事業(5,244千円)



市農林水産業功労者表彰

# 歴史・文化

歴史・文化を磨き  
市民の活動をつなぎ  
新たな市民文化を創ります

## 3. 世代を超えて受け継がれてきた歴史資産が大切に継承され、輝いている

### 文化財の保存・活用

- 【拡】赤レンガ建物利活用調査事業(46,361千円)
- 【新】全国城下町シンポジウム開催事業(2,000千円)
- 【拡】瑞龍寺保存整備事業(21,522千円)
- 勝興寺保存整備事業(29,724千円)

### 歴史的風致の保全・活用

- 日本遺産魅力発信推進事業(1,500千円)
- 都市景観形成推進事業(3,640千円)
- 【拡】歴史まちづくり推進事業(3,042千円)
- 世界文化遺産登録推進事業(520千円)
- ミラレ金屋町開催事業(1,000千円)

# 交流・観光

拠点を磨き  
にぎわいをつなぎ  
交流・観光都市を創ります

## 5. 高岡の魅力積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている

### 北陸新幹線・新高岡駅を活用した誘客推進

- 呉西観光誘客推進事業(連携事業)(5,290千円)
- 新高岡駅利用促進事業(8,980千円)
- 新高岡駅利用促進観光バス事業(連携事業)(9,500千円)
- 社会体験促進事業費補助金(3,520千円)

### イメージアップ・誘致活動の強化

- まちづくり人材育成事業(5,000千円)
- 高岡ブランド発信事業(37,643千円)

### 国内・国外交流の推進

- コンベンション誘致・支援事業(8,230千円)
- 【拡】インバウンド強化事業(2,200千円)

### 観光資源の発掘と保存・活用

- 観光地魅力アップ開業等支援事業(4,000千円)
- 高岡食ブランド活性化事業(1,660千円)
- たかおか観光戦略ネットワーク事業(800千円)

### 広域観光の推進

- 広域観光推進事業(5,531千円)
- ユネスコ無形文化遺産連携活用事業(1,000千円)



高岡御車山祭

## 6. 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている

### 商業・サービス業の振興

- 商工団体助成事業(26,904千円)

### 良好な都市景観の創出

- 歴史的建築物の保全・活用事業(連携事業)(1,409千円)

## 4. 暮らしの中に万葉と前田家ゆかりの文化が息づいている

### 地域に根ざした創造的な芸術・文化活動の育成

- 【拡】新たな芸術・文化創造推進事業(12,333千円)
- 【拡】藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー事業(39,924千円)
- 新たな万葉のふるさとづくり事業(2,565千円)
- 【新】とやま世界こども舞台芸術祭開催事業(2,500千円)
- 【新】万葉歴史館展示室魅力向上事業(20,000千円)
- 文化振興事業(42,827千円)



万葉短歌バトル

### 市街地の整備

- 高岡駅前東地区整備推進事業(87,493千円)
- 福岡駅前土地区画整理事業(201,549千円)

### 中心市街地活性化の推進

- 中心市街地活性化推進事業(19,758千円)
- リノベーションまちづくり事業(7,000千円)
- 中心市街地賑わい創出開業等支援事業(17,000千円)
- 中心商店街賑わい回帰支援事業(13,350千円)
- 【新】セリオタウン推進事業(179,715千円)



ユニークベニューTAKAOKA  
「オンまちなかステージ」

### 住宅・宅地の整備

- とやま呉西圏域ウェルカムサポート事業(連携事業)(3,763千円)
- U・Iターンによる人材確保推進事業(3,040千円)
- たかおか暮らし支援事業(22,016千円)
- 木造住宅耐震改修支援事業(6,065千円)

## 7. 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている

### 高岡駅・新高岡駅の周辺整備

- 総合交通戦略推進事業(178,395千円)

### 高速道路網・幹線道路網・地域公共交通体系の整備

- 万葉線利用促進事業(連携事業)(53,828千円)
- 幹線道路整備事業(1,618,100千円)

### 港湾の整備・活用

- 大型クルーズ船受入事業(7,293千円)

### 広域連携の推進

- とやま呉西圏域都市圏ビジョン推進事業(連携事業)(3,115千円)

# 子育て・教育

地域のきずなを磨き  
世代をつなぎ  
明日を担う高岡人(たかおかびと)を創ります

## 8. 安心と希望、 ゆとりを持って子育てを楽しんでいる

### 安心して妊娠・出産・子育てができる体制の充実

- 子育て支援センター事業(595,250千円)
- 私立保育所入所運営委託事業(1,590,498千円)
- 【拡】子どもの未来応援事業(2,352千円)
- 私立認定こども園等施設型給付費(2,369,916千円)
- 【新】子育てのための施設等利用給付事業(161,726千円)
- 【拡】産後ケア事業(3,979千円)

### 地域の子育て力の応援

- 放課後児童健全育成事業(241,346千円)
- 子育て支援連携推進事業(56,776千円)



### 教育・保育の一体的提供の推進とサービスの充実

- 保育サービス充実事業(362,536千円)
- 子ども・子育て基金活用事業(1,800千円)
- 認定こども園整備事業費補助金(208,156千円)

## 9. 教育を通じて個性を磨き、 生きる力を高め合っている

### 確かな学力・豊かな心・健やかな体をはぐむ教育の推進

- 地域ICT人材育成事業(520千円)
- ICT機器導入事業(3,811千円)
- 部活動育成費(6,138千円)
- 【拡】高峰譲吉博士顕彰事業(2,500千円)
- 不登校児童生徒対策事業(7,213千円)
- 就学援助費(小学校・中学校)(57,097千円)

# 安全・安心

支え合う心を磨き  
地域をつなぎ  
安全・安心なまちを創ります

## 12. 誰もが生き生きと自立して 暮らしている

### 障がい者(児)福祉・自立支援対策の充実

- 障害者自立支援事業(3,149,513千円)
- 障がい者の権利擁護推進事業(6,641千円)
- 【拡】重度心身障害者等医療費助成事業(506,242千円)

### 高齢者福祉の充実

- とやま西園域成年後見センター事業(連携事業)(7,944千円)
- 地域包括支援センター事業(介護保険事業会計)(285,496千円)
- 【新】保健事業・介護予防一体的事業(2,625千円)

### 教育効果を高める教育環境の充実

- 教育環境整備推進事業(1,172千円)
- 小中一貫教育推進事業(695千円)
- 五位中学校区統合小学校整備事業(323,408千円)
- 国吉義務教育学校整備事業(112,402千円)

### 高等学校・高等教育機関の充実・連携

- 大学関連事業(3,900千円)
- 大学・地域連携推進事業(連携事業)(3,086千円)



教育共創サミット

### 地域に開かれた特色のある教育活動の充実

- 【拡】ものづくり・デザイン科推進事業(17,511千円)
- 【拡】外国青年講師招致等事業(49,896千円)

## 10. いくつになっても 興味のあることを気軽に学べている

### 未来を担う世代の育成と若者が主体となるまちづくりの推進

- 子ども元気活動支援推進事業(4,361千円)

### ライフステージに応じた生涯学習の振興

- 【拡】定塚公民館移転改修事業(56,090千円)
- 【新機軸】生涯学習センター中央図書館LED照明化事業(34,441千円)
- 図書購入費(27,500千円)

## 11. いつでも気軽にスポーツを 楽しんでいる

### 生涯スポーツ活動の充実

- 選手育成強化事業(10,660千円)
- 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業(10,958千円)



バドミントン日本代表選手  
ジュニア代表強化合宿歓迎  
セレモニー

### 地域福祉の推進

- 高岡あつかり福祉ネット推進事業(3,640千円)



## 13. 健康的な生活を送り、 必要な時に適切な医療を受けられる

### 生涯を通じた健康づくりの推進

- がん検診事業(189,725千円)
- 【拡】予防接種事業(451,175千円)
- 【拡】健康増進事業(8,563千円)

### 医療体制・医療制度の充実

- 急患医療センター管理運営事業(247,101千円)
- 【新】高岡市民病院院内保育所開設事業(高岡市民病院事業会計)(1,968千円)



高岡市急患医療センター

## 14. 地域の人々の手で 環境が守られている

### 環境保全対策の充実

- 低炭素社会づくり事業(2,289千円)
- 美しいまちづくり事業(12,233千円)

### ごみの減量化・資源化の推進

- 循環型社会づくり事業(12,846千円)
- ごみ広域処理事業(545,792千円)
- ストックヤード維持管理事業(64,525千円)



ストックヤード整備事業

## 15. 安全で快適な生活を 送っている

### 防災対策の充実

- 空き家関連対策事業(10,847千円)
- 防災センター整備事業(417,086千円)
- 防災行政無線整備事業(10,000千円)

### 河川・海岸の保全・整備

- 準用河川整備事業(105,359千円)

### 消防・救急・救助体制の充実

- 消防機械器具等整備事業(101,484千円)
- 消防博労分団器具置場移転改築事業(55,103千円)
- 【新】高岡市・氷見市消防広域化事業(99,546千円)
- 【新】消防回救助能力向上資機材緊急整備事業(4,020千円)



消防操法大会

### 上・下水道の整備

- 水道事業(水道事業会計)(5,158,939千円)
- 下水道事業(下水道事業会計)(11,517,003千円)

### 道路整備、交通安全・防犯対策の充実

- 生活道路整備事業(308,785千円)
- 道路維持管理事業(208,991千円)
- 交通安全施設整備事業(46,400千円)
- 高齢者運転免許自主返納支援事業(7,653千円)

### 雪対策の充実

- 【拡】雪に強いまちづくり推進事業(131,000千円)

### 緑化の推進と保全

- 都市公園等整備事業(33,401千円)
- 【新】新高岡駅花飾事業(100千円)

## 16. その人らしさが尊重され、 お互いに助け合いながら幸せに暮らしている

### 市民が主役の地域づくりへの支援

- 共創による魅力アップ推進事業(2,027千円)
- 元気高岡創造事業(800千円)

### 男女平等・共同参画社会の実現

- 男女平等推進センター事業(25,056千円)

### 多文化共生社会の推進

- 多文化こども勉強室運営事業(143千円)
- 在住外国人のための生活サポート事業(3,325千円)
- 多文化共生日本語普及事業(1,561千円)
- 外国人児童生徒教育支援事業(5,551千円)



国境なき運動会

日台観光サミット

## 17. 市役所が市民に信頼され、 責任を持って取り組んでいる

### 高度情報化の推進

- 【新】マイナポイント準備事業(9,370千円)
- 【新機軸】RPA導入事業(7,798千円)
- 【新機軸】ICT人材登用事業(300千円)

### 簡素で効率的な行財政の推進

- 【拡】行財政改革推進事業(35,411千円)
- 【拡】総合計画管理事業(4,725千円)
- 【新機軸】SDGs推進事業(600千円)

### 市民に開かれた市政の推進

- 広聴事業(168千円)
- 情報発信ツール活用事業(495千円)

# 活動報告

## 2019.4~2020.3

### 済生会高岡福祉・保育総合センター開所式 2019年4月30日



福祉・保育総合センター開所式と、なでしこ保育園開園式が行われました。子ども達の保育から在宅訪問りハビリまで幅広い地域福祉ニーズの拠点として期待しています。

### 令和時代の幕開け、高岡御車山祭勢揃式 2019年5月1日

ユネスコの無形文化遺産「高岡御車山祭」が、令和元年5月1日、改元のその日に催行されました。



### 庄川・小矢部川総合水防演習 2019年5月18日



20年ぶりに庄川での開催となる総合水防演習に、県内の消防団や警察、地域住民など、約2,300人が参加しました。大規模災害が頻発する中、実践的な訓練を通して、地域社会全体の災害対応能力向上が図られました。

### 日台観光サミットin富山 2019年5月23日

日本・台湾間の相互交流拡大を目的とする日台観光サミットが、初めて富山県で開催されました。台湾観光協会会長はじめとする一行に、高岡の歴史と、ものづくりの文化、素晴らしい景観を大変喜んでいただきました。



### チャレンジデー 2019に挑戦 2019年5月29日



全国119の自治体が参加する住民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー2019」が開催されました。初参加の高岡市は特定の自治体と対戦しない「オープン参加」としてのエントリーでした。

### バドミントン日本代表強化合宿 2019年7月5日

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を目指すバドミントン日本代表(ナショナルA)チームの強化合宿が実施されました。合宿期間中の午前、練習の様子が一般公開されました。



### こしのくに国府サミット in高岡 2019年7月6日



サミットが、旧越中国府の跡地に建つと言われていた勝興寺で開かれました。サミットには、かつて「越の国」の国府が置かれた、越前、小松、七尾、高岡、上越、佐渡の6市から、行政や歴史文化9団体など約250人が参加しました。

### 学校訪問(ポーランド献立給食) 2019年7月9日

東京2020年オリンピック・パラリンピックの県内唯一のホストタウンである高岡市は、レスリング競技でポーランドのホストタウンとなっています。市内の全小・中・特別支援学校では、「ポーランド献立」の給食が提供され、食文化を通して、ポーランドへの理解を深めました。



### 伏木港開港120周年記念式典 2019年7月27日

北前船寄港地であった伏木港は、1899年に世界との自由貿易ができる開港場に指定され、今年で120周年を迎えました。以来、日本海側有数の国際貿易港として発展し、平成23年には日本海側拠点港・総合拠点港にも選定されています。



### TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジ2019in高岡万葉 2019年8月4日



6年連続の高岡開催は好評で規定台数の90台を上回るエントリー希望を集めました。今年は、高岡七夕まつりとコラボして、御旅屋通りの七夕飾りの下でスタートセレモニーが行われました。

### eスポーツイベント 「Toyama Gamers Day 2019 / 5G Coliseum」 2019年9月28日



高岡テクノドームで北陸最大級のeスポーツイベントが開催されました。私もサテライト会場の新川文化ホールで村椿魚津市長と格闘ゲームで対戦。5G回線を使ったゲームはリアルで、会場は大いに盛り上がりました。

### 万葉集全20巻朗唱の会第30回記念・令和記念「梅花の宴」 2019年10月4日



記念の特別イベントとして、万葉ゆかりの自治体首長さんと一緒に万葉まつり高岡版「梅花の宴」を開催しました。「令和」の典拠となった梅花の宴の再現に、会場は大いに盛り上がりました。

### 市制施行130周年記念シンポジウム 新たな時代のまちづくりを考える 2019年10月14日



高岡市は、明治22年(1889年)4月初めて市制を施行した全国31市のうちのひとつで、今年で130周年の節目の年を迎えました。シンポジウムでは、明治期からの歩みを振り返りながら新時代のまちづくりを考えました。

### 世界で最も美しい湾クラブ 世界総会 in富山 2019年10月17日

日本初となる湾クラブ世界総会が富山県で開催され、参加者約160人が高岡市を視察しました。富山湾随一の絶景、「海越しの立山連峰」や名勝「有磯海」の眺望を世界に発信することができました。



### 高岡駅前に富山銀行本店移転 2019年11月24日



赤れんがの銀行として親しまれてきた富山銀行の新しい本店ビルが、高岡駅前にオープンしました。高岡駅周辺の再開発、中心市街地のにぎわいづくりが着実に進展しています。

### 教育共創サミットin高岡 2019年11月28日

高岡市が慶応大SFC研究所(神奈川)と協働で取り組んでいるインターネットを使った遠隔授業について、成果や今後の可能性について意見交換を行いました。



### 知事要望 2020年1月29日

JR西日本からのJR城端線と氷見線のLRT化の提案を受け、専門的、広域的な見地から議論が必要であることから、沿線4市で県に参画を求めました。経費や収支、経営主体など様々な議論を重ねていきたいと思っています。



### バドミントン日本代表選手ジュニア代表強化合宿 歓迎セレモニー 2020年2月22日

強化合宿が、22日~28日の7日間行われ、実戦を想定したメニューをこなしました。24日は県西部の有力選手男女16人が参加し、25日にはトナミ運輸の選手8人が激励訪問しました。



### 松楓殿オープニング 2020年3月27日

高岡市生まれの世界的科学者・高峰譲吉博士が、明治時代に日米親善の社交場とした米国ニューヨーク州の別荘・松楓殿の「松楓間」を高岡商工ビルに再現し、一般公開を始めました。



# 令和と万葉のまち高岡

「天平」から「平成」「令和」へ、歌をつなぐ

## 天平 人々が珍しい花を愛で、歌を詠む

天平2(730)年正月13日、大宰帥である大伴旅人の邸宅で、咲き誇る白梅を題材として歌を詠む宴会が開かれました。

その時の32首が、万葉集巻五に記されています。序文は、「初春の令月(れいげつ)にして、気淑(よ)く風和(ら)く」で始まる一文。「初春のよい月で、気はよく風は穏やかである」という意味で、元号「令和」の典拠となった文章です。

白梅は唐から伝わった植物で、当時は珍しかったそうです。花と歌を、友と楽しむ。時代の最先端を行く「うるわしい時間」だったのでしょう。

## 梅花の宴から16年後、家持が越中に来る

そして、天平18(746)年、旅人の子、大伴家持が越中の国守として赴任します。家持29歳の時です。

皆さんもご存知のように、二上山、渋谿(しぶたに)の崎、射水川など、越中の自然にふれて多くの歌を詠みます。

ここで、家持の歌の数を見てみましょう。

- 越中時代以前(14年) 158首
- 越中時代(5年) 223首
- 越中時代以後(8年) 92首

越中時代の歌が大変多く、歌人大伴家持にとって越中が大きな存在となっていることがわかります。

また、万葉集に出てくる地名で、のべ数でいちばん多いのは奈良県ですが、富山県は第5位です。ちなみに第6位が、大宰府のあった福岡県。近畿地方ばかりが上位を占めるなかで地方の1位ですので、とても誇らしいことです。



再現「聖武天皇・光明皇后の礼服」



「梅花の宴」再現模型

## 平成 高岡に万葉の新しい拠点が生誕

高岡は、万葉のゆかりの地として、「高岡万葉まつり」などを開始し、万葉のふるさとづくりを進めました。

そして、平成2年10月に、「高岡市万葉歴史館」がオープンしました。これは、高岡市制100周年記念事業の一環として計画されたものです。

「歌」という形のないものを、楽しみながら学んでいただくにはどうしたらいいか。高岡市万葉歴史館は、そのむずかしさに挑戦した万葉集の本格的な施設です。研究拠点としての機能も充実しています。

## 令和 うるわしい高岡のまちへ

令和の元号の典拠として「万葉集」が大きな話題となりました。万葉ゆかりの地、高岡もメディアに取り上げられ、万葉歴史館には多くの来館者が訪れています。

万葉集と越中万葉の「うるわしさ」を、大人も子どもも見て、味わって、体験してほしいとの思いから、万葉歴史館を新しく生まれ変わらせる計画を進めています。

映像と音で万葉の魅力を体験する空間、さまざまな講座やイベントの開催などを盛り込み、令和3年度のリニューアルオープンをめざしています。

私たちのまち高岡には、家持の思いが残されています。万葉の歌もあります。私たちは、それを大切に思うとともに、全国へ、世界へ発信していく必要があります。

さあ、高岡をもっと万葉の香り高いまちへ。そして、多くの方をおもてなししましょう。

新しい万葉歴史館が楽しみだね!



## 高橋まさきと歩く日本遺産めぐり

Vol.5

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間  
～北前船寄港地・船主集落～

### 日本海の荒波が、富をもたらす

江戸時代、北海道から北陸、大阪を結んだ西廻り航路は、経済の大動脈でした。北前船は、ある港で仕入れた商品を別の港で売る「のこぎり商売」で富をもたらす一方、嵐にあえば遭難することもありました。

その北前船の寄港地と船主集落が、「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間」として日本遺産に認定され、高岡の9つの文化財も選ばれました。

### 北前船の港町ストーリーが息づく伏木

さて、伏木のまちの魅力を見てみましょう。海から見える二上山は、北前船の航海の目印となり、「山を仰ぐ港」となっています。丘にある伏木神社では、船主たちが航海の安全を祈願しました。

富を誇る廻船問屋の屋敷がまちの中心部に建ち、小矢部川・庄川の河口にある吉久には、加賀藩直営の米蔵が作られていました。

伏木の町並みには、日本遺産のストーリーそのままの風景があります。北前船を思いながら歩くと、より深く味わえることでしょう。



旧秋元家住宅

旧秋元家住宅 望楼



吉久の町並み



### 特別寄稿

## 高橋まさきを語る!

明々百草頭



公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会事務総長 嶋津 昭

北陸新幹線が開通して間もなく、高橋市長を慕う悪童達が高岡駅に下り立ったのは凡そ5年前の猛夏の一日でした。市長の綿密なプランに基づいて城跡公園、御車山会館、瑞龍寺など高岡の「歴史と文化」の香りを味わいながら、濃い緑の中をゆったりと散策しました。次に「見るツアー」から「するツアー」に移り、主産物の銅器の職人さんのご指導で鑄物の「ぐい飲み」の手作り体験までさせて頂いたことは忘れられない経験でした。さらに、夕刻、まちなかの古い民家をお借りしての市長ご夫妻の手作りのご接待に預かったのも楽しい思い出となりました。その時、奥様とお仲間によるおりんの合奏をお聴きして高岡の文化の深さを感じていただき、11年間の高橋市政の実績は、北陸の雄都高岡が、産業と文化のまちづくりを一層高めていることを実感した一日でした。

我が家の今月(3月)のカレンダーは、国泰寺の澤大道老師の雄渾な筆「明々百草頭」です。我が国は今、新型コロナが猛威を振るっていますが、季節のたくさんの草々の葉先からは、これに打ち克つ仏の御心が現れていることを教えてください。現今の富山県はコロナ禍に頑張っておられますが、日本全国がこれを克服して来年に延期されたオリンピック・パラリンピックを世界の人びとと共に盛大に祝いたいものです。

高岡市民の皆様と高橋市長が手を携えてさらなる地域の発展の高みを目指されることを我々悪童達は心から期待しております。

## おすすめ散歩道

Vol.5

5回目は鴨島交差点から出発。通りには仏壇店や、大きな蠟燭で有名なお店、昆布削り体験ができるお店もあり、入り口の造りや看板から老舗の佇まいを感じます。横田橋を渡り、金屋の鑄物師ゆかりの有蔵正八幡宮へ。かつて北陸道から高岡に入る重要な場所でした。金屋の石畳へ折れると、食やクラフトのお店が増え、体験型の宿もできました。鳳鳴橋を渡り後ろを振り返ると頭上に利長の鯉のようなカリヨンがあります。小路に入ると越中葛のお店があったり、冬限定かぶら寿司のお店。最近、イタリアンの惣菜店もできました。二丁町バス停から山町筋までの昭和通りには新しいバリアフリーのカラー舗道が快適です。植栽には鳳凰が好きだと言われている笹が植えられ、時々見かける防火水槽の蓋に消防車があつて、かわいい!万葉線まで来るとレトロな電車が高岡駅に向かって一生懸命、坂を上る後ろ姿がすてき!片原町の交差点では夕日の像が迎えてくれます。末広町から真っ直ぐ終点高岡駅へ。新しいビルが立ち並びました。



日々変わる街の様子を見つけにお散歩しませんか?



(高橋 陽子) きんぎんざらざら